

平成 25 年度 第 3 回端野まちづくり協議会開催結果について

◎日 時	平成 25 年 7 月 17 日（火）午後 7 時 45 分～午後 8 時 45 分
◎会 場	北見市端野総合支所 2 階 会議室 3・4
◎出席者	北川正美会長、岡村廉明副会長、今村幸雄委員、鹿野内みゆき委員、 笹木健生委員、柴田登与志委員、日置英俊委員、保里隆道委員、 松崎常雄委員、水口 馨委員、水野三智子委員、村本慧乃委員、 森谷幸弘委員、渡辺まゆみ委員、 計 14 名
◎北見市	藤澤自治区長
◎事務局	原田総合支所長、品田教育事務所長、上銘総務課長、田中地域振興 担当係長、井筒主事
◎傍聴者	2 名

【意見交換・質疑の主な内容】

1. はじめに

- 事務局 : ただいまから、第 3 回端野まちづくり協議会を開催いたします。
北川会長より挨拶をいただきます。
- 北川会長 : 夏本番を迎え、それぞれ夏の訪れを告げる祭りも各地で行われ、
夏を楽しんでいる方々もたくさんいることと思います。
農家の皆さんは、5 月の寒さと、雨の影響で農作業が遅れましたが、
最近の天気では遅れは回復傾向にあります。
しかし、今度は雨が降らず、小麦や早出しの玉ねぎ収穫時期
となるので、早く雨が欲しいところです。
今日は、第 3 回のまちづくり協議会にお疲れのところお集まり
いただき、開催できますことを心から感謝申し上げます。
本日は「まちづくりパワー支援補助金」公開審査を行うこと
となっております。
委員の皆様には、厳正な審査をお願いいたします。
- 事務局 : 続いて、藤澤自治区長から行政報告をいたします。
- 藤澤自治区長 : 自治区関連の行政報告
- 事務局 : これからの会議の進行につきましては、会長にお願いしたいと
存じますので、よろしくお願いいたします。
- 北川会長 : それでは、会議に入る前に、会議の成立について事務局から報
告がございます。事務局、報告願います。
- 事務局 : 本日の出席委員数は、正副会長を含め、15 名中 14 名でご
ざいます。
北見市自治区設置条例第 7 条第 3 項の規定に基づき、半数以上
の出席がありますので、本日の会議が成立いたしますことをご報
告申し上げます

北川会長 : 先ほど、自治区長から行政報告がありました。委員の皆さんからご質問などございませんか。

委員 : 質疑なし

北川会長 : それでは「行政報告」については、以上で終わります。

2. 審査

北川会長 : それでは、次第の『2. 審査』に入らせていただきます。本日は「まちづくりパワー支援補助金 公開審査」を行います。

後ほど応募団体からプレゼンテーションを行っていただき、質疑のあと審査を行います。最初に、審査の進め方について、事務局から説明をお願いします。

事務局 : 審査説明

北川会長 : それでは審査をはじめます。
事業1「【天のしずく】上映・食育事業」の代表の方は、こちらに着席願います。
審査資料については資料2の2ページから4ページになります。

(事業1代表者 中島 智子氏 着席)

北川会長 : それでは事業1申請団体「ひと粒のいのちの会」、事業名「【天のしずく】上映・食育事業」について審査を行います。
それでは団体からの説明をお願いいたします。

事業1代表者 : 事業概要説明

北川会長 : ありがとうございます。
ただいま、事業の説明をいただきましたので、委員の皆さんから質疑を受けたいと思います。
ご質問・ご意見はございませんか。

渡辺委員 : 料理講習会の講師は映画に関係ある方が来るのですか。

事業1代表者 : 映画に出てくる辰巳芳子さんのお弟子さんたちが、こちらに来て実演してくださるように交渉を進めています。

水口委員 : 基本的には食育が中心の事業であり、非常に大きなテーマだと思います。
こういう運動は大切だと思いますが、狙いは、一般の大人が中心なのか、それとも子どもたちが中心なのか教えてください。

事業1代表者 : お母さんたちが中心ですが、お母さんたちを支える地域の方々とか、もちろん、お父さん、子どもたちなど、食育事業に対して興味のある皆様に見てもらいたい映画です。

水口委員 : このスープの原材料については、基本的には地元のものを使うのですか。

- 事業1代表者 : すべてこちらで揃うものでスープを作ってください予定です。
- 北川会長 : 他に質疑はございませんか。
それでは事業1に係るヒアリングにつきましては、以上で終わります。
ありがとうございました。
- (事業1代表者 退席)
- 北川会長 : 審査対象のプレゼンテーション、ヒアリングが終了しました。
応募団体の方々には大変お忙しい中、来ていただき、まちづくり協議会を代表しましてお礼申し上げます。
また、日頃から地域活動や活性化事業など先頭となって実践いただいていることに感謝申し上げます。
それでは、これより評価を行いますので、よろしく願いいたします。
「審査評価シート」での評価となりますが、評価項目は①から⑤までの5項目です。
各項目最高で5点で、合計の最高点が25点であり、中間点の13点以上が採択候補事業となります。
委員の皆さんの評価が終わり次第、事務局が回収し、集計を行いますので、評価の終わった評価シートはそのまま机に置いてください。
集計の間、5分程度休憩といたしますので、評価点の記入が終わった方から随時休憩してください。
それでは、委員の皆さんは「審査評価シート」に評価点を記載願います。
- 休憩—
- 北川会長 : 休憩を解いて会議を続けます。
それでは、審査結果を発表いたします。
事業1「【天のしづく】上映・食育事業」については評価点は、16.67点です。
審査の結果、採択候補事業の基準点に達しておりますので、まちづくり協議会としては、採択候補事業とすべきものと判断いたします。
委員の皆さん、よろしいですか。
- 委員 : 異議なし
- 北川会長 : 以上で「まちづくりパワー支援補助金 公開審査」を終了いたします。
事務局から補足説明があります。
- 事務局 : 補助金額及び通知について補足説明
- 北川会長 : ただいま、補足説明のありましたことについて、ご質問・ご意見はありませんか。

委員 : 質疑なし

北川会長 : それでは「まちづくりパワー支援補助金 公開審査」については、以上で終わります。

また、審査に出席いただきました団体の皆さんにおかれましては、長時間にわたりご協力いただきありがとうございました。

(団体退席)

3. 議題

北川会長 : それでは、3. 議題に入らせていただきます。
「自治区内事業の進捗状況」について、上銘総務課長から説明をお願いいたします。

事務局 : 概要説明

北川会長 : ただいま、説明のありました「自治区内事業の進捗状況」につきまして、ご質問・ご意見はございませんか。

保里委員 : 端野豊穰太鼓保存会は文化連盟に入っていないので、資料には入っていないのですか。

事務局 : 豊穰太鼓は、文化連盟に加入していないので資料に名前はありません。

森谷委員 : 人口の減少では、端野自治区は他の自治区に比べ、減少率は低いですが、15歳未満の人口が劇的に少ないのは、これから何とかしていかなければならないと危機感を感じています。
今後、端野小学校の新築が行われますが、今は1学年2クラスですが、この資料を見ると、数年後には1クラスとなってしまいますので、人口が増えるよう若い人たちが住めるような住宅環境の整備を考えていかなければいけないと思います。

水口委員 : アンケート結果を見て、若年層の子どもたちの少ない現実をどうみるか、今待機児童がいるのかどうかなど、働くお母さんたちに対する施策をきちんとしていかないと人口を増やすのは難しいと思います。

総合計画でこれらの施策を最重点課題とすることと、今の北見市の現状分析をしっかり行い、若い人たちが安心して仕事ができる環境をぜひとも整備して欲しいと思います。

岡村副会長 : 合併前には、端野町土地開発公社で多くの土地分譲を進めていた時には、若い世代が増え小学校も1学年2クラスとなった現実がありました。

安くて広い土地を提供することができ、豊かな環境で居住できる地域なので、端野自治区で今後そのような施策ができないかと思います。

森谷委員 : 全国的に人口が減少していることもあり、国の施策がきちっとしなければ解決が難しいと思いますが、副会長が言うように、若い人たちが住みやすい環境を作ることが大事で、せっかく新

しい小学校を整備するのであれば、子どもたちが住みやすい環境を作ってあげて欲しいと思います。

水口委員 : 日本の人口は、2050年には大きく減少する予想になっていますが、それに向かって本当の意味でコンパクトシティーを目指す考えをしっかりと持っていないと間に合わないと思います。
今後、人口が減少するという前提でまちづくりをしていくこととなりますが、どのようなまちづくりをしていくのが良いのか、この布石となる議論をこれからの5年間で行い、方向付けをする大切な5年間となると思います。
アンケート結果の高齢者福祉の充実について、全部マイナスになっていますが、これから「団塊の世代」をどうしていくかが大きな課題だと思います。
このことに関しても、今後どう進めていくのが良いのか、この布石も5年間での方向付けが必要になると思います。

岡村副会長 : 魅力のない地域、人を大切にしない地域は人口減は当然であり魅力のある地域、住みやすい地域、安全な地域は人口増の可能性のあることを認識しておくことが必要で、そういった意味で、様々な施策を進めていくことが大切です。
農・商・工等の連携についても、特に農業が盛んな端野自治区については、いろいろな施策が打てると思いますが、見ていると余り進んではいけないように見えます。
きちっと連携し働く場所を作っていくのが大切です。

水口委員 : 最近、高速道路ができて北見市内が取り残されるのではないかと感じています。
それに対する北見市の産業振興はどのような魅力のあるまちづくりをしていくのか、真剣に検討していかなければならないと思います。
魅力のあるまち、高速道路を下りてでも寄っていきたいまちづくりを目指していくことが大切です。

北川会長 : 他に質疑はございませんか。

委員 : 質疑なし

北川会長 : それでは、「自治区内事業の進捗状況」については、以上で終わります。

北川会長 : 本日の議題は、すべてを終了しました。
次に、その他として委員の皆様から、何かございませんか。

委員 : ありません。

北川会長 : なければ、事務局から何かありませんか。

事務局 : 次回の協議会でありますが9月上旬を目途に開催したいと考えております。
事務局からは以上です

北川会長 : 以上をもちまして、第3回端野まちづくり協議会を終了いたします。最後に岡村副会長から挨拶をいただきます。

岡村副会長 : 7月11日に第2回北見市総合計画審議会に出席してきました。膨大な資料をもらいましたが、会議は2時間程で終了しました。その場に、コンサルタント会社の方がいましたが、確か合併協議の時に、合併するメリットの中で、大きな自治体になると専門職的な職員を置き、専門的なサービスを受けることができるということでしたが、アンケートに関する事務くらいは北見市職員でできないのかと思いました。実際5年前の総合計画でも、コンサルタント会社の方が来ていろいろやっていたのですが、途中まで参加し、結局完成せずに終わった記憶があります。コンサルタント会社に依頼することが、良いことなのかどうかは、私には分かりませんが、合併協議の約束はなんだったのかと思います。コンサルタント会社によるアンケート調査を行うにしても、どれくらいの予算で行うのかなどの説明があるべきでないかと思いました。6月15日以降、全く雨が降っていません。次回の開催まで間がありますが、皆さん体に気をつけ、また、元氣にお会いしましょう。

北川会長 : 以上で終了いたします。

午後8時45分終了